

第2学年  
国語科学習指導案

1 題材名 人物の特徴をとらえて論じよう

2 題材について

(1) 題材観

本題材は、新学習指導要領の「B書くこと」(2)内容①言語活動例「イ 多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書く言語活動」を受け構成した。また、新学習指導要領では「伝えたい事実や事柄を明確にすることは、意見を述べる文章などでは、自分の立場を支える根拠として重要である。」とも述べられており、文章を書くことで自分の考えを広げようとする態度の育成を図りたい。

また、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に関連して『平家物語』という古典作品を通して、先人たちのものの見方や考え方に触れさせたい。扇の的は、源平合戦屋島の戦いの一場面であり、源氏方の若武者・那須与一が北風に揺れる扇を見事に射落とす。そこには、与一の弓の技術の高さと源氏の榮譽のために命を懸けて挑んだ悲壮な決意が描かれている。さらに、戦のさなかにこうした競技を仕組む平家の風流な心や、高い技量には敵味方を超えて賞賛を惜しまない武士たちの態度も描かれている。しかし、義経の命により、与一の腕に感動し舞を舞った老武者が射倒されることで、場面は一転して非情な戦場に引き戻される。続いて、敵に囲まれた状況の中で自分の弓を命懸けで拾い上げる義経の姿が描かれ、一軍の将たる義経の意地やプライドが垣間見ることができる。生徒は、そのような場面における登場人物の心情を読み取ることで、昔の人のものの見方や考え方に触れることができるであろう。

上記2点から古典作品に触れながら、短い文章からでも伝えたいことを明確にして書かせたり、構成を意識して分かりやすく書かせたりする必要性を感じて本題材を設定した。

(2) 系統

中学校1年生

- ・ 故事成語を使って体験文を書こう。

中学校2年生

- ・ 自分流「枕草子」を書こう。
- ・ 人物の特徴をとらえて論じよう。

中学校3年生

- ・ おすすめの古典を贈ろう。

(3) 生徒の実態 (男子15名 女子14名 計29名)

授業態度は概ね良好である。一人ひとりが授業に集中して取り組む姿が見られる。しかし、特定の教科で一部騒がしい生徒が見られ、改善の余地がある。また、極端に学力不振の生徒が複数おり、授業に集中できない実態や課題を提出できない状況に陥る場面が見られる。さらに、学習に対して無気力な生徒がおり、授業時の個別支援等で学習意欲の向上が必要される。

既習事項の実態調査は以下のとおりである。(実態調査時29名 10月19日実施)

- ① 古典作品を扱う教材に意欲的に取りくんでいるか。
- ② 話し合い活動の中で、自分の意見を的確に相手に伝えることができるか。
- ③ 書くことの活動の中で、伝えたい事柄を明確にさせて書くことができるか。
- ④ 古典作品を読み、語句や表現からその場の情景や、登場人物の心情を想像することができるか。
- ⑤ 課題作文を書くうえで、原稿用紙の使い方や正しい文章の書き方、適切な言葉遣いができているか。
- ⑥ 古典の原文や現代語訳、解説文を積極的に読むことで古典に親しもうとしている。

【考察と指導観】

実態調査から、特に男子Gは授業への意欲が極端に低いため個別指導の重点化を図る必要がある。女子Yも場合によっては学習意欲低下の傾向があるので留意する。また、男子Lは人物像をまとめるうえで困難が予想されるので、個別の手立てを必要とする。

本学年では4月からこれまでに①気になるあのを探ろうの「人物紹介パンフレット」、②夏の課題作文、③新しい短歌のための鑑賞文の3つの内容で書くことの実践を行ってきた。(小学校時代からの適切な指導のおかげもあり)原稿用紙の使い方や言葉遣いなど、多くの生徒がほぼ習得することができていることがわかった。その反面、全く理解することができていない生徒が

いる事実もある。ただ、習得できている生徒の中でも話し言葉と書き言葉の違いが明確ではない場合が見られたので、今後注意を要する。

本教材では、登場人物の言動など人柄や性格がわかる表現に着目させ、人物像をまとめさせたい。また、まとめた人物像は友達どうしで交流させて登場人物の人柄や性格について考えを深めさせるとともに、伝えたい事柄を明確にさせて書くことについての知識や技能を確かなものとさせたい。

### 3 題材の目標

- (1) 古典作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像して人物像をまとめようとする。(関心・意欲・態度)
- (2) 登場人物の人柄や性格などの特徴を捉え、自分の立場や伝えたい事柄が相手に伝わるよう、人物像を書くことができる。(書くこと)
- (3) まとめた人物像を互いに読み合い、意見を述べたり助言をしたりして、自分の考えを広げることができる。(書くこと)
- (4) 古典作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### 4 単元の指導計画(3時間扱い 本時は3時間目)

時間	学 習 内 容	支援及び指導上の留意点	評価規準(観点)
1	1. 学習の概要を説明する。  2. 本題材の学習課題や評価方法、観点を確認する。  3. 教科書P138~P141, P142「扇の的」をグループで読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書P154下段を読み、「人物を選ぶ→特徴を捉えて文章にまとめる→感想の交流」という流れを示す。</li> <li>・自分の考えをまとめる力を身につけていくことを確認する。</li> <li>・選んだ人物の人柄や性格がわかる言動や、周囲の人々の反応等にポイントを絞り傍線を引かせる。</li> <li>・原文だけでなく、現代語訳やあらすじが描かれた部分、資料集を参考にさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しを持つことができる。(関心・意欲・態度)</li> <li>・書きたい人物を選択し、その人物の特徴を文章中からつかむことができる。(書くこと)</li> </ul>
2	4. 登場人物の中から、論じる人物を決める。  5. 本文から選んだ登場人物の特徴がわかる部分を探す。  6. 伝えたい事柄をまとめる。 ①選んだ人物の特徴を簡単に表す。また、なぜそう思うのか、本文の言葉を根拠として挙げる。 ②本文から読み取れることをまとめる。 ③自分の考えや感想をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「扇の的」から書きたい人物を一人選ばせる。</li> <li>・根拠につながる部分であることを説明する。</li> <li>・例えば、「義経はプライドの高い人物である。」というように、その人物の特徴を簡潔に表現させる。</li> <li>・6-①のように考えた根拠は何かを明確にさせる。</li> <li>・武士の生き方や戦闘中の心情など昔の人々の思いを想像をしながらまとめさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古典作品に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物の思いを想像することができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)</li> </ul>
3	7. 前時の振り返りを行いな	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「①特徴→②本文から読み取</li> </ul>	

本時	<p>がら、伝えたい事柄の確認する。</p> <p>8. 選んだ人物について、300字程度の「人物像」をまとめる。</p> <p>9. 書いた「人物像」を読み合い、意見や感想を交流する。</p> <p>10. 本題材の学習を振り返る。</p>	<p>れること→③自分の考えや感想」の流れを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>段落構成や文字数に関して詳細を説明する。ただし、配慮を要する生徒には個に応じて指導を行う。</li> <li>それぞれの友達の文章に対して、感想を付箋に書き、貼らせていく。</li> <li>題材の目標（3-(1)~(4)に沿った振り返りシートを用意し、本題材を振り返らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選んだ人物について「人物像」をまとめることができる。（書くこと）</li> <li>付箋を使って積極的に感想の交流をしている。（関心・意欲・態度）</li> </ul>
----	---	--	---

## 5 本時の指導

### (1) 目標

登場人物の特徴や本文から読み取れること、自分の考えや感想をはっきりさせて「人物像」をまとめることができる。（書くこと・伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

### (2) 展開

学習活動と内容	時配 形態	○指導上の留意点 ◎配慮を必要とする生徒への支援 ※道徳教育との関連事項	評価（方法）
<p>1 前時にまとめた伝えたい事柄の確認を行う。</p> <p>①特徴 ②本文から読み取れること ③自分の考えや感想</p> <p>2 本時の学習課題をつかむ。</p> <p>登場人物の特徴や本文から読み取れること、自分の考えや感想をはっきりとさせて「人物像」をまとめよう。</p> <p>・学習課題をノートに書く。</p> <p>3 伝えたい事柄をはっきりとさせて選んだ人物の「人物像」をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構成の注意点を考える。（段落数も含む）</li> <li>文章の流れを意識する。</li> <li>指定された文字数を意識する。</li> </ul>	<p>一斉 3分</p> <p>一斉 3分</p> <p>個別 20分</p>	<p>○前時を振り返り、伝えたい事柄を確認する。</p> <p>◎授業意欲が懸念されるGとYの2人と学力不振のLには50分の授業を通して注意を払う。</p> <p>○簡潔に学習課題を告げる。</p> <p>○「人物像」にせまる学習を通して、自分の考えをまとめる力を身につけることを確認する。</p> <p>○構成に関しては、教科書P154に準じて「①特徴→②本文から読み取れること→③自分の考えや感想」という流れを確認する。</p> <p>○段落については、3ないしは4段落構成とする。</p> <p>○文字数に関しては、基本的には300字程度とする。</p> <p>○文章にまとめる際は、人物の特徴や本文からの読み取り、自分の考えや感想をはっきりとさせて書いてい</p>	<p>○選んだ人物について「人物像」をまとめるができる。（原稿・観察）</p>

<p>4 書いた「人物像」を読み合い、考えや感想を交流する。</p> <p>①グループで ②同じ人物を書いた者どうしで ③自由に</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読んだ感想を付箋に書いて友達に渡す。</li> <li>・渡された付箋をノートに貼る。</li> </ul> <p>5 本題材の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに記入する。</li> </ul>	<p>グループ ↓ 個別 20分</p> <p>一斉 4分</p>	<p>く よう助言する。</p> <p>◎男子LやGは文字数を少なく設定してでも書くよう助言する。</p> <p>○まずはグループの中で交流をさせ、次に同じ人物を書いた生徒どうし、最後に自由に交流をさせる。</p> <p>○それぞれ友達の文章に対して、感想を付箋に書き、貼らせていく。</p> <p>○他者の意見や感想から、さらに人物の見方を広げられるとよい。</p> <p>※他者の意見や感想を尊重し、素直に受け入れる姿勢をもつ。</p> <p>○題材の目標（3-(1)~(4)）に沿った振り返りシートを用意し、本題材を振り返らせる。</p>	<p>○付箋を用いて積極的に感想の交流をしている。 (付箋・観察)</p> <p>○本時の振り返りを行っている。 (ワークシート・観察)</p>
---	---	--	--

## 6 板書計画

十一月六日(火)

「扇の的」 —— 『平家物語』から

○人物の特徴をとらえて論じよう

〈目標〉  
 登場人物の特徴や本文から読み取れること、自分の考えや感想をはつきりとさせて「人物像」をまとめよう。

〈学習内容〉

(1) 「人物像」をまとめる。

(2) 意見交流会

③  
付箋

②  
付箋  
  
付箋

①  
付箋  
  
付箋

(3) 学習の振り返り